

予算委員会 会議録

日 時 令和3年9月21日(火曜日) 午前11時06分 ～ 午後2時41分

場 所 臼杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長	戸 匹 映二	副委員長	武 生 博明	委 員	河 野 巧
委 員	川 辺 隆	委 員	匹 田 久美子	委 員	内 藤 康弘
委 員	伊 藤 淳	委 員	梅 田 徳男	委 員	広 田 精治
委 員	奥 田 富美子	委 員	若 林 純一	委 員	長 田 徳行
委 員	久 藤 朝則	委 員	大 塚 州章	委 員	大 嶋 薫
委 員	吉 岡 勲	委 員	牧 宣雄		

オブザーバー

議 長 匹 田 郁

欠席委員の氏名

委員 若 林 純一(午前11時32分～欠席)

説明のため出席した者の職氏名

政策監(総務・企画担当)	加 島 和弘	政策監(民生担当)	小 坂 幸雄
政策監(福祉保健担当)	杉 野 等	政策監(商工・観光・農林水産業担当)	佐 藤 一彦
財務経営課長	荻 野 浩一	秘書・総合政策課	安 東 信二
防災危機管理課長	竹 尾 幸三	税務課長	姫 野 敬一
高齢者支援課長	田 中 美智子	子ども子育て課長	尾 本 浩
福祉課長	大 戸 敏雄	都市デザイン課長	小 坂 郡師
建設課長	高 野 裕之	社会基盤整備・災害支援センター所長	小 長 範幸
社会基盤整備・災害支援センター参事	齋 藤 隆生	農林振興課長	目 原 康弘
農林振興課参事兼	藤 澤 清巳	産業促進課長	佐 藤 忠久

農林基盤整備室長

おもてなし観光課長

中尾 敬

教育次長

後藤 誠也

学校教育課長

後藤 徳一

学校教育課参事兼

麻生 幸誠

野津学校給食センター所長

文化・文化財課長

後藤昌二郎

消防長

平川 幸司

消防本部 総務課長

小野加寿男

その他関係職員

出席した事務局職員の職氏名

局長 平山博造

次長 後藤秀隆

副主幹 高橋悠樹

書記 清水 香

傍聴者

11名(報道機関)

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第 64 号	令和 3 年度臼杵市一般会計補正予算(第 6 号)	原案可決
第 65 号	令和 3 年度臼杵市下水道事業会計補正予算(第 1 号)	原案可決
第 66 号	令和 3 年度臼杵市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決

午前11時06分 開議

○委員長(戸匹映二)

ただいまから予算委員会を開会いたします。本日は傍聴の申し出があった場合は許可したいと思いますので、ご了承ください。

本9月定例会では、適切なマスク着用の徹底が議会運営委員会で決定しております。本委員会でも、適切なマスクの着用ルールの遵守をお願いします。

なお一般会計と特別会計すべての説明と質疑終了後に、一般会計から順次、討論、採決を行いたいと思いますので、よろしくお願いします。

それではこれより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は 3 件であります。本日の委員会はお手元に配付しております委員会次第により、進行いたします。また、質疑及び答弁を行う

場合の、挙手についても徹底をお願いいたします。

それでは初めに、第 64 号議案、令和 3 年度臼杵市一般会計補正予算(第 6 号)を議題といたします。まず、総務関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎財務経営課長(荻野浩一)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎防災危機管理課長(竹尾幸三)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(奥田富美子)

歳出の6番の町泊事業のところをお尋ねします。

事業化に向けた調査研究という説明がありましたけれど、臼杵城泊研究会が行うのかどうか。教えてください。

その研究会自体少し簡単に、どんなグループか教えてください。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

奥田委員のご質問にお答えいたします。

まず、臼杵城泊研究会といいますのは、臼杵のんき屋というまちづくり団体がございます。

実は城泊の事業は臼杵のんき屋が、令和 2 年度に独自で、官公庁の観光アドバイザー事業を採択されて実施いたしました。そこで官公庁のアドバイザーから臼杵市お墨付きをもらいまして、官公庁の後押しもありましてぜひ進めていきたいと思いますという話になりました。今回本格的に観光庁の補助金を使いまして、立上げに向けて調査をしようというもので、臼杵のんき屋だけですと、今後の展開で厳しいものもありますので臼杵市と一緒に連携をしてやりますということになりまして、臼杵市と臼杵のんき屋で構成するのがこの臼杵城泊研究会というものです。今臼杵のんき屋だけですけれども、今後いろんなまちづくり団体ですとか、関係団体にどんどん拡大していく上で臼杵市が入っていくという役目がありますので、そういう役割分担をしながら、この事業を実施していきたいと考えております。以上です。

○委員(奥田富美子)

すいません聞き漏らしたかもしれないんですけど、その研究会が調査研究するということでしょうか。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

奥田委員のご質問にお答えいたします。

調査研究はこの臼杵城泊研究会が実施いたします。そこに対する補助金でございます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

○委員(伊藤 淳)

社災センター防災備蓄倉庫整備事業について、関連というかお尋ねしたいのは、先ほどセンターの中に、資材を捌くところも作るというふうなお話がありました。大規模災害が実際起きると、備蓄している資材以外で、救援物資等がかなり大量に頼んでなくても届いてきて、捌くのにそちらに人が取られてしまっというのを、私も竹田市あちこちの災害のときに、ボランティアとして入ったときに、そちらの物資を捌くほうに回って、大変な労力がかかってるっていうのを経験しました。

そういう既存の物資以外で入ってくる救援物資を捌くまたは備蓄するということについてはどんなふうにお考えか教えてください。

◎防災危機管理課長(竹尾幸三)

伊藤委員の質問にお答えいたします。

今回の荷捌き場を備えたものをうちの方がどうしても欲しいと要望したのは、まさに市外から入ってくる資材を、受入れるスペースが今現在ないということで、それを受け入れて捌く場所が欲しいということで、今回の備蓄倉庫が、荷捌き場を備えたものとして整備しようとすることにしました。

通常は、この緊急防災減災事業債というものを使う以上は、防災備蓄倉庫であるべきだというのがありますので、通常時は、備蓄してます。ですが、その中には、発災後一番最初に出さなければいけない飲料水だとか食料、毛布、それから敷きマットとか、そういうものを一番出しやすい場所に置いて、それを全部出した後に、そこが全部綺麗なフラットになって、荷捌き場になると、そういうふうな設計をしました。以上です。

○委員(河野 巧)

いくつかあるので一つずついきます。

5 番目の民間バス臨時運用委託料ということで 259 万 6000 円が計上されてるんですが、すでに 8 月 27 日からスタートしてるようなのですが、県が行っている高校生の事業と、市が行う事業はどういうふうに違うのか、ご説明をお願いします。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

河野委員のご質問にお答えいたします。

県が行っている臨時バスは、JR 駅沿線のルートだけを行っております。それで、野津方面から、臼杵のほうに来る臼杵高校、海洋科学高校に通うルートに関しては、県の事業の対象外ということで、JR 沿線じゃないところを市がフォローしているという形になっております。以上です。

○委員(河野 巧)

たまに柳原でバスが走っているのを見かけるんですけど、それは県の事業ですかね。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

河野委員のご質問にお答えいたします。

多分津久見方面へ行かれる県の事業バスだと思われます。以上です。

○委員(河野 巧)

ありがとうございます。でしたら今回ののは、以前行ったような形の市内を巡回するっていうか子どもたちスクールバスとか入った分があるんですかね。要は、1 便行っていたのを 2 便に増やすとか。そういうのとはまた違うんですかね。

◎秘書・総合政策課長(安東信二)

河野委員のご質問にお答えいたします。

今回の事業は、野津方面から臼杵方面への朝の通勤通学バスの密集を避けるために、1 便増やすというものでして、スクールバスとは今回は違います。以上です

○委員(河野 巧)

ありがとうございました。

続きまして 8 番の先ほどの社災センターなんですけども、旧商業高校跡地に体育館があって、解体されて、あそこにするのかなっていうイメージだったんですけど、今のお話ですと、3 棟の奥になるっていう話ですので、真ん中の棟は今、庁舎機能として使ってるんですけど、1 棟目と 3 棟目っていうのは、今後これを作ることで何か計画があるんでしょうか。

◎防災危機管理課長(竹尾幸三)

河野委員のご質問にお答えいたします。

今現在、3 棟目を備蓄倉庫として利用させていただいておりまして、そこはそのまま活用いたします。今回備蓄倉庫をなぜ 3 棟目の裏にしたかっていうことなんですけど、まず体育館の跡地にしますと一番正面の一番良い場所で、後の活用が見いだせないというか、そういうことが一つと、今現在 3 棟目に防災備蓄倉庫としてあるのであれば、その横に一緒にあったほうが、いろいろ出し入れとか、そういうところで、便利が良いということで、場所についてはそちらのほうに決定いたしました。ちょっと 1 棟目の活用について財務経営課のほうから、お答えいたします。

◎財務経営課長(荻野浩一)

河野委員のご質問のことをします。

今現在社災センターには 3 棟建っておりまして一番手前が書庫、公文書棟みたいな形になってます。2 棟目が、上下水道課、建設課が入っている、執務室が入っている棟ですね。3 棟目は今課長が説明しました備蓄倉庫ということになっておりまして、今、総務課のほうでもBCPの作成をしておりますけども、非常時の執務室はどうあるべきかということも一つはありますけども。こういったところに執務室を設けていくかというふうなことを、検討しております。当然社会福祉協議会のほうも、この一角に、どっかスペースがとれないかというような話も受けてますので、そういったことも含めてこの 3 棟、総合的に今後整理していきたいというふうに考えております。

○委員長(戸匹映二)

若林委員は発言は適正なマスクを着用していただければ発言を許可しますが、しない場合は許可できません。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で総務関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前 11 時 32 分 休憩

午前 11 時 33 分 再開

(若林委員 無断退席)

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

次に民生関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎税務課長(姫野敬一)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

質疑ありませんので、以上で民生関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前 11 時 34 分 休憩

午前 11 時 35 分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

次に福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監(杉野 等)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎高齢者支援課長(田中美智子)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎子ども子育て課長(尾本 浩)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

説明ありがとうございました。歳出のナンバー2、介護基盤整備事業補助金のところで、認知症高齢者グループホームというのが、お話にありましたけども、こういった企業になるのかが1点と、10分の10の補助で、4,870万2,000円ということで、この金額で全部改修できるのか自己負担っていうか自己資本があって、これは改修費だけに使うお金なのか、10号線沿いだったと思うんですけど、そこを使われるのか、もう少し詳しいご説明をお願いします。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

株式会社ビジュアルビジョンにつきましては、法人の所在地が埼玉県上尾市になっております。

この法人につきましては、同様のグループホームを数件、今現在経営をされておりました、私立も他に経営をしているような企業になります。補助金につきましては、県の補助金で、補助単価に、施設数とか、定員数を掛けた額の10分の10の範囲内の補助になっておりますので、このように4,870万2,000円というような額になっております。以上です

○委員(河野 巧)

事業規模はもうちょっと大きくなるんですかね、自己資産とかいう形の。分かる範囲でお願いします。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

一応補助金はこのくらいということで、建物につきましては、定員18名のグループホームができるということでこれ以上の額になります。以上です。

○委員(奥田富美子)

歳出の6のところなんですけど、放課後児童クラブの障がい児の増加に伴う運営費のところなんですけど、おそらく人を手当されるんだと思うんですけど。

途中から追加ということですから、何人ぐらい、その対象者が増えたのでしょうか。

◎子ども子育て課長(尾本 浩)

障がい児の受け入れ人数ですが、今クラブが全部で11ありまして、そのうち9クラブが障がい児を受け入れしておりました、事前に12月1月ぐらいに調査をしたんですけど改めて、この4月に調査をしたところを、各クラブ1人ずつ、障がい児が新たに入るということで、その分の加算になります。

○委員(伊藤 淳)

うすき石仏ねっつについて教えてください。今回の新規参加見込み増に伴うものということなんですけども、石仏ねっつと新規参入される方、医療機関でしょうか。介護事業所でしょうかっていうことが1点と、現時点において、医療機関、介護事業所、それぞれ総件数、どのぐらいの件数が普及してるのかっていうのを教えていただきたいと思います。お願いします。

◎政策監(杉野 等)

新規事業所ですけれども、コロナ禍におきまして、やはり集まって会議等ができなくなったということで、ウェブの開催をずっと検討してきて、石仏ねっとでこれを運用したらどうかという話で、加入されていない施設のほうから、ほとんどが介護施設ヘルパーステーションというところの、7 事業所から、今、新規で来ております。その他今後ですね、加入される施設もあるかと思しますので、この金額で補正させてもらいました。現在の参加施設ですが、病院とか介護施設、トータルで、現在 88 施設でございます。ちなみに、102 施設あるうちの 88 ということでございます。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前 11 時 49 分 休憩

午後1時 00 分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

次にインフラ関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎建設課長(高野 裕之)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎社会基盤整備・災害支援センター参事(齋藤 隆生)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(奥田富美子)

歳出の2番、都市デザイン課のところをお願いします。イメージパス等を作るということなんです、その生かし方について少し教えてください。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

奥田委員の質問にお答えします。

今現在行ってるのが、地区内の課題の整理を行っております。この課題を、今後整備していく上で、こういったイメージになるのかということで、それは関係する地区の区長とですね、協議しながら

ら、今現在進めてるところです。以上です。

○委員(奥田富美子)

関係する区長さんたちにお見せするためのパースでよろしいですか。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

奥田委員の質問にお答えします。

関係する区長にお見せするんじゃなくて、関係する区長と協議しながら、イメージを書いてそれを元に、今後整備する方針を作っていくような形になります。イメージパースについては皆さんにお見せするような形になると思います。

○委員(河野 巧)

1番の東九州自動車の建設促進対策事業費の中で今回残土処理の整備等あがってるんですけど、今の担当課でわかる範囲で、今後これをする事で、事業年度っていうか、今年度中にこういうのをして、来年度工事が入ってとかその辺がわかる範囲でご説明いただければと思います。

◎都市デザイン課長(小坂郡師)

河野委員のご質問にお答えします。

今現在、工事については着手工事はもう終わっています。本体工事につきましては、4 年度当初より着工予定と聞いております。最難関のトンネル工事につきましては、夏ぐらいから、トンネルのずりの搬出が行われるというふうに聞いております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上でインフラ関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後 1 時 12 分 休憩

午後 1 時 13 分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

次に産業関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎産業促進課長(佐藤忠久)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎政策監(佐藤一彦)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎農林振興課長(目原康弘)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

説明ありがとうございました。6 番の臼杵市食文化創造都市推進協議会負担金ってことで新しく広報費、負担金を追加するということなんですけども。一般財源の他に臼杵食文化ですけども、県を挙げてということで、県のほうの補助等は、今後の予定とか今回はできなかったのか、その辺をご説明をお願いします。

◎政策監(佐藤一彦)

県の補助金につきましては、3 年間で、来年度も再来年度も予算要求して、活動を行っていくようにしております。3 年計画で県のほうには、予定を提出しておりますが、3 年間で3,000万円の枠を設けましょうということで約束をいただいております。ということで、今年度は一応今、当初、893 万4,000円、県のほうからいただくようにしております。今回につきましては、単費での補正の要求としてます。ただし来年度、再来年度、今年以上の事業費で事業を行っていく予定をしていますんで、計画では総額で3,000万の補助金をいただく予定となっております。以上です。

○委員(河野 巧)

ありがとうございました。

もう1点、おもてなし観光課の観光推進振興事業補助金のところでですね、本当に大きな金額をありがたいところです。どちらも主催が観光協会になってますので、特にふぐ割のほうは、昨年に引き続きですので、主催が観光協会であれば、何か1万食のうち、2,000食とか、ツアー用に組んだりとか、なんかそういうことは、委託先とか主催先を協会にお願いしたりとか、全部を一般の方に売る予定でしょうか。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

河野委員の質問にお答えします。

ふぐ割の割当食数のうち一部を観光客のほうに割り当てたらどうかということだと思んですが、現在のところ、観光ツアーとかというような形の割り当ては考えておりません。

店舗に、割り当てて、そして店舗の中でお食事していただくというふうに考えております。

○委員(河野 巧)

うすき美食クーポンは販売場所がJTBとかになってたので、多分JTBの窓口で売ってことは、多分そういうところも、ふぐは別にしても、美食のほうでは、JTBも何かをきっかけとして、紹介したいところもあるのかなと思って、その辺のすり合わせみたいなものを、市よりは協会のほうで考えてもらってもいいですよっていうスタンスなのか、市のほうとしてもこれでいきますということなの

か。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

今回提案させていただいた美食クーポン、そしてふぐ割の事業と、両方とも観光協会と打ち合わせ、調整をしまして、提案させていただいております。現在のところ、ふぐ割事業、そしてクーポン事業につきましても、ツアー等の割り当てはなく、JTＢについては、クーポンの販売とノウハウを持っておりますので、そちらのほうでご協力いただくというふうなことを考えております。以上です。

○委員(内藤康弘)

歳出10番の水田の畑地化です。面積と参入農家の数と補助率を教えていただければありがたいんですが。

◎農林振興課参事兼農林基盤整備室長(藤澤清巳)

内藤委員のご質問にお答えいたします。

現在計画してる面積は、1.2ヘクタールを予定しております。ここにかかる受益者については、50名。本地区を、就農という部分では3名ですけど、この1.2ヘクタールを所有している地権者については、50名いらっしゃいます。補助率は、ここに270万円補助金というふうに書いておりますけど、実際事業費が300万円です。そのうちの2分の1が、国の補助で残りの40%が市の持ち出しで、地元負担が10%ですので、ここでは、300万円から1割を引いた270万円を補助金として支給するものであります。

○委員(奥田富美子)

歳出7番のふぐ割のところに戻るんですが、前回と違うところは、美食クーポンとの併用不可ということだけでよろしいでしょうか。お店ごとに前回は割り振って、結局人気店からすぐなくなってしまったというのは、少々課題のように感じていたんですが、去年とそこは同じ募集の仕方ということではよろしいですか。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

奥田委員の質問にお答えします。

昨年度実施しましたふぐ割で、売り切れがすぐに出て、なかなか食べることができなかったというふうなお話を伺いまして、反省しまして、今回は予約を一斉にするのではなくて、まだ決定はしてないんですが、4回程度に割り振りまして、各月の予約数を取っていくというふうな形でやっていきたいと考えております。以上です

○委員(川辺 隆)

一緒の7番の質問なんですけど、この美食クーポン券なんですけど、昨年、ふぐ割があった時もそうなんですけど、忘年会シーズンに実はコロナが増えて、私どもの会社でも100人程度の忘年会を企画していたんですけど中止にしました。今回も、この年末にかけてコロナのまた再爆発、感染爆発が予測される中で、販売時期に関しては早急に、始めようで、使い終わる時期に関しては、年度内を一応想定されているということで、最長はどれくらいまで延ばせるんでしょうか。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

川辺委員の質問にお答えします。

使用期間の終わりの期限ということだと思うんですが、開始につきましては早急というふうなことは言えます。終わりににつきましては、こちらの交付金事業ということがありまして、年度内にすべてを完了しなきゃいけないという縛りがありますので、使用期間が終わった後に、清算とか、事業の締める期間が必要になってきますので、それを逆算しますと 3 月の初旬もしくは中盤がぎりぎりの時期になるのではないかとこのように考えております。以上です。

○委員(川辺 隆)

一番最初の臼杵美食クーポン券、これ今回大変魅力的なクーポン券で私も欲しいんですけど、市民の方々への啓発は市報をもって多分行うと思うんですが、来月号に載せる市報になると思うんですが、市民の方の購入方法も、その後そこに載せるということによろしいんですね。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

川辺委員の質問にお答えいたします。

周知の仕方、広報の仕方ということになると思います。周知広報は現在のところ市報、そしてホームページや新聞への掲載というふうなことを考えております。そちらを実施する際には、販売期間とか、周知する必要があるというふうに考えておりますので、できる限り市報で、市報の締め切りが早いものですから、ちょっと市報については難しい場合もあると思うんですが、新聞もしくは SNS でははっきりと明記していきたいというふうに考えております。

○委員(川辺 隆)

市報の締め切りが来月のものはもう今月締め切られてますよね。それで、来月の締め切りに間に合わせようと思ったら 11 月になるんですけど、各家庭で届いたら、多分、11 月の中旬。と想定した場合、その後の販売ということにしかならないと思うんですけど、タイムスケジュール的に。少し遅くなるのかなと思うんですが。

◎おもてなし観光課長(中尾 敬)

川辺委員の質問にお答えいたします。

非常にその辺は私たちも苦慮しております。現在は、臼杵市内や県内を含めて感染状況が大分少なくなってきた部分があるので、現在だと Go を出したいなというふうな考えを持ってるんです。

この後、飲食店に対しての周知がまず先になってきます。そして、参加希望店も今から募るような形になってきます。ですので、その日程等がありまして、できるだけ早く今月中の早急にしまして、11 月の市報に間に合わせまして、11 月の早い段階から販売をとというふうなことも、頭に入れながら検討している段階です。

○委員(匹田久美子)

この美食クーポンとかうすきふぐ割についてなんですけど、これは観光面でも、市内の経済を活性化する意味でも、とても良いと思うんです。

加えて、食文化創造都市のPRとしても、臼杵はこんな魅力溢れる食に溢れる、とても食の豊かな町ですという、広報の役割も担えると思いますので、このクーポンを広報する時にそういう魅力も付加して、宣伝されたいと思います。そういうお考えですか。

◎政策監(佐藤一彦)

匹田委員のご質問にお答えします。

広報媒体等で、これまで臼杵の食文化をPRするキャッチフレーズも考えて、行ってきておりますので、そういったものを合わせて広報していったらいいと思います。同時に食文化創造都市についても、この時期には加盟の認可も分かってるんですが、もし駄目でもその後も食文化創造都市として、2年後目指して取り組んでいきますので、それとあわせて、PRをしていきたいと考えています。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で産業関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後 1 時 41 分 休憩

午後 1 時 45 分 再開

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

次に教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎教育総務課長(後藤誠也)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎学校教育課参事兼野津給食センター所長(麻生幸誠)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎学校教育課長(後藤徳一)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎文化・文化財課長(後藤昌二郎)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(河野 巧)

説明ありがとうございました。2 番のICT活用教育推進事業費というところで、今回やはり一般財源のほうで計画をなされているんですけども、さっきご説明あったように、臼杵市だけじゃなくて、

各市町村でも結構不具合が起こっているってことで、他の予算で今後検討されたいというのものもあるんじゃないでしょうか。

◎学校教育課参事兼野津給食センター所長(麻生幸誠)

河野委員の質問にお答えします。

今おっしゃられたように県全体でネットワークを利用してる自治体で、同じように、通信が滞るような事象が発生しております。市、県それぞれ、いろんな要素が全部うまくいって、初めて通信が円滑に進むということで、原因は多岐にわたるということで、各自治体とも原因探しに奔走したわけでありまして、県全体でそういう担当者会議であるとか、オンライン含めて会議を頻繁に重ねまして、対策を協議しております。他の自治体も臼杵市のように補正予算等で、今後意向を検討しているところもありますし、まだ未定であるところもあるんですけども、もうすでに6月補正で小さな調査につきましては、計上しているところもあります。以上です。

○委員(河野 巧)

ありがとうございました。

急にコロナの関係で、学校で授業ができなくなったりとか、教材として、先生方が自分の授業を動画で撮って、それアップして、子供が勉強したりとかいう、その中で少しお話を聞いたのがフィルタリングをかけることで、現場の先生方結構YouTubeで動画を撮影される方が多いということで、フィルタリングの中には、携帯電話もそうなんですけど、YouTubeが全然見られなくなるフィルタリングとか、一部見えるようになるとか、そういうのがあるんで、今、担当課で考えるっていうことありましたらご説明をお願いします。

◎学校教育課参事兼野津給食センター所長(麻生幸誠)

再質問にお答えします。

おっしゃるように授業の中で、学校にいる時は、今申し上げたように、フィルタリングがかかっておりますので、自由に検索をしてYouTubeとか、検索エンジンで調べものとか、YouTube閲覧ができるんですけど、家庭に持ち帰りを、先般夏休みとか、今回コロナウイルスの関係で持ち帰るようにしましたが、家庭に持ち帰ることでそのセキュリティーが入ってないということで、各学校から不安の声、保護者の方からも不安の声が上がりまして一番の制約は厳しいロールノートのWebフィルタリングという中で、もう調べものをしてもらうということしか今できてないのでかなり子どもさんにとっては面白くない端末になっているということです。ですが、セキュリティーを重視した対応にして、そこで今回もしこの予算をつけていただければ、アイフィルターというんですが、フィルタリングをすることによって委員おっしゃるように、自由な検索ができて、今見れないYouTubeとか、自由に見れるということになりますので、学習環境としては、すごく向上するものと考えております。以上です。

○委員(川辺 隆)

よくわからないんで教えてもらいたいんですけど、最初にこれを導入する時に回線事業、小学校とか中学校でも結構事業が発注されました。

回線のほうの整備されて、いざ運用したら、環境が悪い。原因がわからないんで、今度県の専用回線に切り替えるのに、今回少しお金を一般財源でかけてますよ。そうなった場合、今度県の専用回線に切り換えた分、切り替える費用が上がってるんですけど、上がったら大丈夫なんですよ。

◎学校教育課参事兼野津給食センター所長(麻生幸誠)

川辺委員の質問にお答えします。

おっしゃるようにこのV-LAN3-9というのはタブレット専用端末ということで、今まで 20 年前に作った豊の国ハイパーネットでちょっと老朽化も否めないというような回線なんですけども、一応負荷がタブレットだけに特化できるので、軽くなるということで、県はデータから見ると倍ぐらいの通信速度に理論上はなるとということで試算しております。ですがこれをICTっていうのは、今回の国の基準に基づいて実施設計から整備をきちんとしたにもかかわらずこういう事態になるということで、いろんな要素を含んでおりますので、100%うまくいくということはなかなか県もはっきりは言わないんですけども、そのため県は、県立高校が大きい学校等から、この通信料金では悪いということで、とりあえず、大きい学校の生徒の分を、ローカルブレイクアウトと言うらしいんですけども、回線から外す処理をとりあえずしてくれてますので、以前よりも、通信環境は今の状況でも改善してるんですけど、このタブレット端末専用回線になれば、それよりも良くなるということで、県は言っておりますので、県の通知通り、各自治体が今移行に向けて整備の検討をしているという状況であります。以上です。

○委員(川辺 隆)

要は何が言いたかったっていうと最初の設計が間違っていたんじゃないかってことを言いたいんですよ。今度これだけお金をかけて変えました。また駄目やった。県が言うから県の言う通りしました。そうじゃなくて、やっぱり少し考えて、様子を見てからまずやらないと、これやったらまた駄目だったといって予算がかかってくるんでしょ。その時はまた一般財源でしょ。それを少しお考えになって、当初の発注が間違ってたということは、悪いけど研究が足りなかったんじゃないかとこれは一つ考えてもらいたいです。じゃないとこれまた同じ予算が上がってくるんですよ。そこは気をつけてください。お願いします。

◎学校教育課参事兼野津給食センター所長(麻生幸誠)

川辺委員のご質問にお答えします。

おっしゃるように当初の設計は、当然交付金をいただいて整備するので、その基準を満たさないといただけないということで通信速度も国の基準をパスした状況で、実施設計等をさせていただきました。ですが、一応臼杵市もそうなんですけど他の県内の自治体も思った以上に滞るというような状況になっているので、それでいろいろ対策を講じているということでもあります。ご指摘の通り、設計とか、今後の状況等、また会議もありますし、要望するべきところは要望するということで、担当者会議等も頻繁に行われますので、その中で他のところの情報も収集して知恵を借りながら、より良い体制を構築するということでやっていきたいと考えています。以上です。

○委員(川辺 隆)

もう 1 点、今問題になってるのがこのタブレットを自宅に持って帰って、生徒間同士のサイトとかの問題があったんですけど、要するにグループに対してのいじめ問題等が今新聞報道に出てます。これに対しての対応策をどうするのかちょっと教えてください。

◎学校教育課参事兼野津給食センター所長(麻生幸誠)

川辺委員のご質問にお答えします。

東京の町田市だと思うんですが、不幸な事件が起こってしまいました。これもそのあと、担当等課内でいろいろ検討をいたしました。そちらの状況を見ますと、タブレット端末にIDを振られてるんですけども。それがクラスの出席番号というか順番通り振られていて誰がどの端末かというのが推測できるような状況になっていたということで、臼杵市はそういう振り方にはしていないので、個人の特定には至らないのかなということで、そういうやっぱりIDの取り扱いを十分注意しなければこのような事態はどこにでも起こり得るということで、ご指摘の通りだと思います。

このタブレットを使っても使わなくてもいじめというのが、わからないところで起こりやすいような状況にはなっておりますので、それは、学校現場とまたいろいろ、連携しながら対応していくしかないのかなと思っております。特にその家庭に持ち帰ったときのルールも決めて、保護者の方に見ていただいて同意書的なものも提出いただいておりますので、一応保護者の方のご協力もいただきながら、定期的にやっぱり訴えていかなければいけないと考えております。以上です。

○委員(匹田久美子)

単純な質問です。歳出の6番の文化財保存修理委託料、国宝臼杵磨崖仏の仮修復 97 万 6000 円ってことなんですけど、これは、あくまでも仮の修復で、この後、本当の修復があるんですよね。タイムスケジュールにも載ってますか。予定はありますか。

◎文化・文化財課長(後藤昌二郎)

匹田委員の質問にお答えします。

現在、仮修復というのが、ちゃんとした修復の工法が定まっておりません。そのため今年度から、東京文化財研究所と共同研究ということで、その修復方法について研究する予定になっております。ちゃんと工法が決まりましたら、本修復に向けて準備を進めていきたいと考えてます。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで 10 分間休憩いたします。

午後2時 07 分 休憩

午後2時16分 休憩

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

次に消防本部の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎消防本部総務課長(小野加寿男)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(伊藤 淳)

当然のことだと思うんですけど。これ除菌と菌の繁殖と書いてるんですけども、当然、ウイルスも大丈夫なんですよ。

◎消防本部総務課長(小野加寿男)

伊藤委員のご質問にお答えします。これコロナ専用の洗濯乾燥機ということで、ウイルス対応となっております。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で消防本部の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後2時 17 分 休憩

午後2時 18分 休憩

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。

次に、各特別会計の議案審査を行います。この審査の順番は所管課ごとに、議案番号順で行いますので、よろしくお願いします。はじめに、上下水道管理課および上下水道工務課所管の議案審査を行います。第 65 号議案 令和 3 年度臼杵市下水道事業会計補正予算(第 1 号)を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎社会基盤整備・災害支援センター参事(齋藤隆生)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(川辺 隆)

狭間調整池整備事業なんですけど、想定が 69 mm 程度多分、今想定されてるという話なんですけど、この調整池の深さが、全体的に言えば多分あまり深く作る調整池ではないと思います。

現地の状況を見たら。そしたら、一般質問でも先日質問させていただきましたけども、近年の雨が線状降水帯また台風等が想定を上回る雨量がもうすでに出てます。この 69 mm も根拠はいいんですが、今後変更で改良となった場合、今回の設計する調整池を作った場合、その後の改良工事もできる設計になってるんですか。変更に対応しうる設計になってるのかをちょっとお聞きしたいんですけども。

◎社会基盤整備・災害支援センター参事(齋藤隆生)

川辺委員のご質問にお答えいたします。

今回の補正の内容としまして、委員がご心配されるのは当然だと思います。今回の変更というのは、当初予算において、先ほど言いました通りで、想定としては時間雨量 69 mm ということの深さにしておりますが、今回はこれを約 3 時間ほど持つような深さに変更するのが今回の事業費の変更になっております。約 2m ほど深くなるというふうに考えております。これで今後想定するものを対応していこうというふうに考えております。ですので変更については現状としてはこれに対応できます。将来に向けての形で、今回の事業は考えております。

○委員(川辺 隆)

ですから、我々がもう今想定するのが、今までは 30 年、40 年に 1 度の雨量を設計上想定してたんですけど、今一般的な 100 年想定に移りつつあります。すべての設計が。その中でこの 60 mm をもう超える想定ってのは、今もうできてるんですけど、そうなった場合作ったのはいいんですが、そのあとに、これをまた改良しようと、ポンプの話もこれに出てますけども一部。そういうのを併設した段階で、改良できる設計内容になってるのかということです。変えたっていうのわかるんですよ。問題はその後です。なぜなら、我々、戸室市浜の地区の人間は、いつも台風が来るたびに、道路の冠水があって、私はもう家に帰れません。実際、その中で、確かに上流部にこれだけの貯水池ができれば、3 時間程度我慢できますよ。でも、今はもう 3 時間程度じゃない話があるんで、お年寄りが多い中で道路が冠水したら、逃げ場がないんですよ。その後にじゃあこれを改良しようとなった場合、現段階の設計が次の段階によって作り直すんじゃなくて、設計をその後また変更できる内容になってるのかってことを聞きたいんですよ。

◎社会基盤整備・災害支援センター所長(小長範幸)

川辺委員の質問にお答えします。

現状、貯水池の深さを深くして完成させて、3 倍の容量を持たせるということになっております。要は、池を作るんですよ。そこには今コンクリートをはるようにして、構造としてはコンクリートブロック積みで、やるようにしてます。将来的に改良が、その補強なりして、そこをはつってでもできる

ような構造になっておりますので。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、第65号議案についての質疑を終わります。

以上で、上下水道管理課並びに上下水道工務課所管の質疑を終わります。ご苦労様でした。休憩致します。

午後2時 27 分 休憩

午後2時 28分 休憩

○委員長(戸匹映二)

再開致します。

次に、高齢者支援課所管の議案審査を行います。第 66 号議案 令和 3 年度臼杵市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

(補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(戸匹映二)

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(伊藤 淳)

歳出 1 番の介護予防普及啓発事業の普及啓発番組の制作の委託料ということなんですけど。番組の内容についてですね、認知症条例の審議をした際に、今後の認知症にかかるそういういろいろな施策をするときに、当事者及び家族の会や当事者の人達の意見を聞き取り入れながら、行っていくというふうなやりとりがありました。この普及啓発番組ってのは、とても影響力があるものだと思うんですけども、当事者または家族の方々の意見が反映されるような取り組みになるというふうにお考えでしょうか。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

今回のテレビ番組につきましては、2年に1回行っています市民フォーラムの啓発ということを目的に考えております。今回は、認知症の条例案を提出しておりますので、条例案が可決された場合には、番組の内容にも、条例の内容について市民の方に広く説明をしていきたいというふうを考えております。また、認知症の予防についての講座や、現在、市で行っております認知症の施策についても、皆さんにお知らせをしていこうというふうに思っています。

○委員長(戸匹映二)

休憩いたします。

午後2時 34 分 休憩

午後2時35分 休憩

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。挙手をもってお願いします。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

集いの中でも、市の施策についての説明をしておりますので、そのような説明の内容も繰り入れて行いたいというふうに思っております。また、当事者のご意見ということもありますので、集いの中でも、皆さんにこういう番組を作るということは報告して、ご意見もいただけたらなというふうには考えております。以上です。

○委員(伊藤 淳)

意見の聴取、または話し合いというか、そういう場を持っていただけるということなのでぜひお願いしたいということと、今月は皆さんご存じのとおり世界アルツハイマーデー及びアルツハイマー月間、世界中で取り組まれているってことがありまして、内容としては、本人または当事者の人達の暮らしやすい世の中を作っていくという方向で、全国のJDWD日本、当事者の人たちの団体も、膨大な数の啓発のYouTubeのビデオ等発信されてますし、全国家族の会の方々も同じように、アルツハイマーデーに合わせたそういった番組制作がなされておりますので、ぜひ、話し合える場を設けていただいて、よりよいものを作っていただければと思います。

よろしくお願いします。

◎高齢者支援課長(田中美智子)

ありがとうございます。

伊藤委員のご質問ご意見についてですけど、市といたしましてもアルツハイマー月間に合わせて、催しをしたりしておりますので、今後も、家族の方のご意見を聞きながら、よりよい啓発、発信の仕方も考えていきたいなというふうに思っております。

ありがとうございます。

○委員(河野 巧)

同じ項目の介護予防普及啓発事業ですけども、製作委託料になってますんで、作ったものをどういうふうに発信していくか。発信するほうの何か考えがありましたらお願いします

◎高齢者支援課長(田中美智子)

河野委員のご質問にお答えいたします。

番組を作りましたら、ケーブルテレビでの啓発番組の放映とともに、後日YouTubeにアップする

ことで、インターネット環境がある方については繰り返し視聴が可能ということで、見ていただくようにしております。またDVDを作りまして、今後の普及啓発にも役立てていこうというふうに考えております。以上です。

○委員長(戸匹映二)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、第66号議案についての質疑を終わります。

以上で、高齢者支援課所管の質疑を終わります。ご苦労様でした。休憩致します。

午後2時38分 休憩

午後2時39分 休憩

○委員長(戸匹映二)

再開いたします。これより第64号議案 令和3年度臼杵市一般会計補正予算(第6号)に対する討論に入ります。

(なし)

○委員長(戸匹映二)

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第64号議案については、原案の通り可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

異議なしと認めます。よって、第64号議案については、原案の通り可決すべきものとして決しました。以上で第64号議案についての議案審査を終わります。

次に特別会計にはいります。特別会計の第65号議案から第66号議案までは一括して討論を行います。討論ありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

以上で、討論を終わります。

これより採決を行います。特別会計 第65号議案から第66号議案については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

○委員長(戸匹映二)

異議なしと認めます。よって、第65号議案から第66号議案については、原案の通り可決すべき

ものとして決しました。以上で第 65 号議案から第 66 号議案についての議案審査を終わります。

以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。予算委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後 2 時41分 閉会

臼杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和3年9月21日

臼杵市議会

予算委員会委員長 戸匹 映二